

科目名	観光研究ゼミナール	科目コード	1236	単位数	2
担当者名	伊藤 昭男	開講セメスター	第7セメスター	開講年次	4年次
授業の方法	演習	到達目標	F,H	実務経験	無
ナンバリング	LSe704	DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

● 授業のねらい

豊かな地域づくりを進めていくための一環として、「観光まちづくり」を理解し、実践していくための「まちの見方・調べ方・考え方」を習得することがねらいである。

● 到達目標

修得した知識を基に、地域観光振興において自ら課題を発見し、解決する能力を身につけることができます。

● 授業内容

- 1週目 イントロダクション（基本方針、講義の進め方、小論文テスト、英文翻訳課題など）
- 2週目 地域の風景を知る（地域の資源と個性、風景は重要な地域資源、風景の構成を分析・把握する）
- 3週目 地域の風景を知る（風景の変遷を調べる、風景の構成を分析・把握する）
- 4週目 地域の暦を知る（暦に現れる地域の個性、自然環境の周年変化と人の関わり）
- 5週目 地域の暦を知る（四季折々の祭りと行事、暦の視覚化）、英文翻訳課題の提示。
- 6週目 地域の空間構造を知る（地域空間・地域環境の認識、かたちに着目する）
- 7週目 地域の空間構造を知る（なりたちに着目する）
- 8週目 地域の社会構成とつながりを知る（地域の多層・多様な社会構成を知る、統計調査で地域社会を捉える、地域の組織や取り組みを知る）
- 9週目 地域の社会構成とつながりを知る（地域外とのつながりを知る、組織・活動の調べ方と整理の仕方）
- 10週目 地域の人のまとまりや地域間の人の流れを知る（地域の人口分布を理解する、交通統計を理解する）
- 11週目 地域の人のまとまりや地域間の人の流れを知る（交通統計を利用する、観光まちづくりに活かす）
- 12週目 地域観光のあらましを数字で捉える（観光統計の体系とその活用）
- 13週目 地域観光のあらましを数字で捉える（観光の経済効果と経済効果調査の実施）
- 14週目 地域の制度・政策・計画を知る（観光まちづくりと法・制度・政策・計画の役割、調査対象とする地域・地区の行政的位置・地理的空間的位置づけ・観光施策的位置づけを知る）、英文翻訳課題の提出。
- 15週目 地域の制度・政策・計画を知る（地域資源と法・制度・政策・計画・事業の関係を知る、法・制度・政策・計画の調べ方と対応の仕方、観光まちづくりから新たな法・制度・政策・計画の構築へ）、小論文テストを実施する。
- 16週目 課題小論文および課題英文翻訳についての講評。ただし、やむを得ず15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講を実施する。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：講義予定に沿って事前にテキストを予習しておくこと（90分程度）
 復習：講義を振り返り、要点を復習・整理しておくことと、自分自身の考えをノートにまとめておくこと（30分程度）。

● 成績評価の方法・基準

小論文テストの結果と、英文翻訳課題の提出&内容を総合的に判断して評価する。

● 履修上の留意点

成績評価は原則10週以上授業に出席した学生を対象とする。
 講義に関する連絡事項はLMS上で行うのでその都度確認すること。

● 課題に対するフィードバックの方法

小論文テストの結果と、英文翻訳課題の提出&内容についてそれぞれ講評する。

● テキスト

國學院大学地域マネジメント研究センター（編）『「観光まちづくり」のための地域の見方・調べ方・考え方』（朝倉書店）2970円
 本テキストは、「観光ゼミナール ~ 」で共通に使用します。

● 参考書

伊藤昭男『観光ビジネス・エコノミクス概論』（批評社）2420円

● 更新日付

2024/02/22 02:32